

こんごういん ニュース
金剛院 NEWS

お寺で富士見台小学校3年生の課外授業



前週末の雪が境内にまだ残る2月12日、富士見台小学校の3年生が課外授業で金剛院を訪れました。

テーマは「地域の歴史や、昔の暮らしのようすを知ろう」。



子どもたちは赤門の説明を聞いたあと、完成したばかりの客殿を歩いて本堂へ。長い廊下や広い客殿を見て「すご〜い!」という声があちこちから上がっていました。

授業は昔の長崎村の地図や写真を見せながら、地域の暮らしがどのように変わっていったかが伝えられました。

質問タイムには「戦争のとき金剛院はどうなったのですか」「和尚さんは子どものころどんなお菓子を食べていたのですか」など、たくさん手が上がりました。

お話のあと、子どもたちは境内のあちこちを探検。石灯籠や、珍しい木石(ぼくせき)のスケッチをする子もいました。最後は長崎不動尊を見学。引率の先生は「とても貴重な体験になりました」と話していました。



長崎不動尊の観音さまに自然と手を合わせる子どもたち。



耐震改修された新しい本堂で、地域やお寺の歴史について聞く子どもたち。



住職のお話を皆、熱心にメモしています。



1本500万の柱だよ〜??



境内のあちこちを探検しました!



「木石(ぼくせき)」にタッチ。「木なのにこんなに固い!」

どこに新しい木が使われているか、わかるかな〜?



★子どもたちは、古くから伝わるものに対しても素直に好奇心をもつようです。実際に見て、触れることによって地元のお寺を身近に感じてくれたら嬉しいです。楽しみながら地域の歴史に触れられるこうした機会を、これからもできるだけ作っていききたいと思います。(住職記)